

高来図書館だより

2023年 2月号 NO.197

諫早市立高来図書館
〒859-0117
諫早市高来町峰19-1
(高来西ゆめ会館内)
Tel.0957-32-2395
開室時間 午前10時～午後6時



まだまだ寒い日が続きますね。
暦の上では春ですが、暖かい日差しは
もう少し先ようです。
待ち遠しい春を、読書をしながらのんびり待ち
ませんか？是非図書館にご来室ください。



【臨時休館のお知らせ】

森山・西諫早	1月25日(水)～1月27日(金)	(済)
諫早	1月31日(火)～2月3日(金)	
飯盛	2月8日(水)～2月9日(木)	
高来	2月9日(木)～2月10日(金)	
たらみ	2月14日(火)～2月17日(金)	
小長井	2月15日(水)～2月16日(木)	



資料を一点一点確認し、棚の整理などを行います。みなさまには
大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

芥川賞・直木賞が決定しました

【芥川賞】	『荒地の家族』 佐藤厚志
【芥川賞】	『この世の喜びよ』 井戸川射子
【直木賞】	『地図と拳』 小川哲
【直木賞】	『しろがねの葉』 千早茜

※芥川龍之介賞その他の候補作品※

安堂ホセ 『ジャクソンひとり』 河出書房新社
鈴木涼美 『グレイスレス』 文藝春秋
グレゴリー・ケズナジャット 『開墾地』 群像2022年11月号

※直木三十五賞その他の候補作品※

一穂ミチ 『光のところにいてね』 文藝春秋
栗井脩介 『クロコダイル・ティアーズ』 文藝春秋
凧良ゆう 『汝、星のごとく』 講談社

過去の受賞作品
と合わせて展示
コーナーを作っ
ています。
この機会に力作
に触れてみてく
ださい。

◆今月の展示◆

【一般】

「海外文学いかがですか」
「植物と本」
「春はすぐそこ」
「チョコレートの本」

【児童】

「ともだち！」
「おいしい本」
「きせつのえほん(春)」

2月のおはなし会は

2月25日14時～和室
です。



※おはなし会やイベントは状況により中止になることがあ
ります。詳しくはホームページをご覧ください。

2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

☒:休館日 ☑:おはなし会

新着案内



【一般書】



『見果てぬ王道』

川越 宗一／著（文藝春秋）

長崎の貿易商の跡継ぎとして育ち、香港で写真館を経営する庄吉。清朝を打倒し、西洋の武力支配からの自立を目指す若き孫文と出会い…。映画事業で成功を収め、革命家・孫文を支援し続けた梅屋庄吉の熱き生涯を描く。

『ワンダーランド急行』

荻原 浩／著（日経BP日本経済新聞出版）

会社をサボり、スーツで山に登った40歳の野崎修作。「日常」に戻ると、街も家も会社も、何かおかしい。どこかで聞いたような疫病が世界を分断し、新宗教の持つ票があらゆる選挙を左右し…。『日本経済新聞』連載を単行本化。

『ゴッホの犬と耳とひまわり』

長野 まゆみ／著（講談社）

古いフランス製の家計簿に書き込まれたゴッホの署名はほんものか？文化人類学者の河島から依頼され、手稿の真贋とその来歴を追う「ぼく」。実業家一族のファミリーヒストリーが謎を解き…。『群像』連載を改訂し単行本化。

『消えたソentakホテルの支配人』

ヲソムツツ／著（影書房）

伊藤博文統監が主催する晩餐会が催された翌日、ソentakホテルの支配人が消えた。16歳の正根と福林は、協力して真相を究明し、ソentak女史が高宗皇帝の信任状を潜伏中の密使に届け…。「ハーグ密使事件」を描いた冒険小説。



その他の新着本

- ❁ 『オタク六法』
- ❁ 『フライパン煮込み2』
- ❁ 『あずき毒出しスープ』
- ❁ 『テレビを捨てて健康長寿』
- ❁ 『芦屋山手お道具迎賓館』
- ❁ 『わたしの心を強くする「ひとり時間」の作り方』
- ❁ 『ポーター（移民と難民）』
- ❁ 『低糖質のキッシュとタルト ケークサレ』
- ❁ 『新聞は偉そうに嘘をつく』
- ❁ 『究極の氣レイキ』
- ❁ 『年収300万円でもカチ越えられる「貯蓄1000万円の壁」』

【こどものほん】



えほん

『カレーはあとのおたのしみ』

シゲタ サヤカ／著（えほんの杜）

カレーのにおいに魅せられて、カミナリたちが雲の下におりてきた。カレーのお店で「カレーを3つ、おねがいしま〜す!」と頼んだけど、出てきたのはハンバーグ。お店のおじさんは「カレーはあとのおたのしみ」と言って…。

よみもの

『えんぴつはだまって』

あんず ゆき／作、たごもりのりこ／絵（文溪堂）

学校でえんぴつを拾った小4のエリカ。その夜、えんぴつから、つくも神が現れた!? 古いモノに憑くという妖怪のつくも神は、自分と仲良くしたらいいことがあると言い…。えんぴつの妖怪が活躍する、ユーモアたっぷりのお話。

ティーンズ

『13歳からのニュースウィーク』

栗下直也／著、ニュースウィーク日本版編集部／編（CCCメディアハウス）

社会のしくみっておもしろい! 経済から環境問題まで、これからの時代を生き抜いていくために考えてほしい時事問題のテーマを20取り上げて、ストーリー形式で解説する。



その他のほかの あたらしい本

- * 『パノラマずかん運転席』
- * 『かいけつゾロリきょうりゅうママをすくえ!』
- * 『大きな大きな大きな足あと』
- * 『テーマパークのサバイバル』
- * 『ウルトラマン大図鑑ハイパー』
- * 『2番めにすき』
- * 『それで、いい!』
- * 『ダーウィンのドラゴン』
- * 『ちいさなトガリネズミ』
- * 『そらのゆうびんやさん』